令和９年度

岡谷市の予算編成に関する要望書

岡谷市議会

おかや未来研究室

岡谷市長　早出 一真 様

会派「おかや未来研究室」は、「力ある岡谷の未来を創る為、団結して行動し、議会の機能充実と議員の資質の向上を図ると共に、市民に信頼される政治活動に取り組む」ことを理念に掲げて、「活力のある明日の岡谷をデザインする」ことを目指した活動をしています。

岡谷市においては、「第５次岡谷市総合計画後期基本計画」の将来都市像である「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて「子育てしやすい環境の実現」、「安全・安心の伸展」、「未来に向けた産業の充実」、「魅力発信と賑わいの創出」の４つの重点プロジェクトにより、本市の成長と飛躍に向けて鋭意取り組まれています。

しかしながら、少子高齢化や人口減少、物価・エネルギー価格の高騰、頻発化・激甚化する自然災害など、市民生活や地域経済を取り巻く環境は依然として厳しさを増しており、地域産業を支える人材不足、公共施設やインフラの老朽化に加えて、地域コミュニティの担い手不足など、解決すべき課題が山積しています。
一方で、岡谷市には、世界に誇るものづくり産業、諏訪湖や豊かな自然、歴史・文化、そして地域を支える市民のつながりという大きな財産があります。これらの強みを生かし、本市ならではの魅力と強みを更に高めるとともに、次代を担う人材の育成や地域経済の活性化につなげていくことが重要です。

このような環境下において、財政状況が厳しい中でも部局を超えた全市的な視点で、各種の施策や事業の優先度を踏まえた取捨選択と、限られた財源の効果的、集中的な配分によって市民の生命、暮らし、仕事を守るための施策を着実に推進していくとともに、将来の岡谷市の発展に向けた投資を積極的に進める予算編成が求められています。
また、市民、自治区、企業や各種団体との協働や公民連携、諏訪湖周をはじめとする広域連携を積極的に進め、地域全体で課題を解決する仕組みづくりが必要となっています。

おかや未来研究室では、「第５次岡谷市総合計画後期基本計画」の４年目となる令和９年度予算編成にあたり、これまでの各種の施策や事業の進捗を検証し、また、日頃より市民から寄せられている要望事項に加えて、本市の課題解決に向けた調査・研究を踏まえた議論を積み重ねた上で、会派による昨年度の要望内容を再検証し、本市の未来を見据えた新たな視点を加えた上で、令和９年度の予算編成に向けた要望をまとめました。

岡谷市民の福祉の向上と、将来にわたり安心して暮らし続けられる持続可能な社会の実現を願い、多様な市民の声を反映し、岡谷市の未来を切り拓く予算編成となるように７分野６７項目の要望をいたします。
また、特に重点的に取り組んで頂きたい５項目を重点要望事項としてまとめてありますので、是非とも令和９年度の予算編成に反映されますように強く要望いたします。

令和８年１０月２７日

岡谷市議会　会派「おかや未来研究室」
中島 秀明　今井 康善　宇野 香二　藤森 弘
秋山 良治　今井 浩一　渡辺 太郎

【 重 点 要 望 】

ララオカヤ解体の計画的な取り組みと駅周辺地域の早期整備

ララオカヤ解体を計画的に進め、あわせて岡谷駅周辺地域の整備を早期に推進。また南北自由通路の活用により、市街地や諏訪湖への動線整備による回遊性と利便性の向上を図る。さらに岡谷駅改札の高架化による南北の一体化を目指す。

川岸学園の整備促進

認定こども園の計画的な整備を進めるとともに、より専門性のある教科担任制の導入など義務教育学校の特性を活かした学園づくりと、市民や関係者からの意見・要望を幅広く反映し、地域に開かれたコミュニティ拠点づくりを進める。さらに次期学習指導要領を見越した新しい挑戦、転入者にも選ばれる学園を目指す。

指定管理者制度の有効活用と公民連携（PPP・PFI 等）の推進

公共施設の管理運営において、指定管理者制度を適切かつ効果的に活用する。さらに、民間の知見や資源を活かした公民連携（PPP・PFI 等）の導入を積極的に進め、効率的で質の高い行政サービスの提供を目指す。

諏訪湖畔の有効活用と地域イベントの実施

諏訪湖サイクリングロードや諏訪湖畔公園などを観光・交流の拠点として位置づけ、地域産業や観光事業者との連携を強化。サイクリングを通じた交流人口の拡大と地域経済の活性化を図り、魅力ある湖畔のまちづくりを推進する。

部活動の地域展開の推進

部活動の地域展開を円滑に進めるため、地域クラブ等の受け皿を明確にし、教育委員会・学校・地域・関係団体との連携体制を構築する。あわせて、指導人材の確保・育成、学校・公共スポーツ施設の利用環境の改善、運営・財政面を含む支援制度を充実し、子どもたちが安心して継続的に活動できる環境を整備する。

岡谷市文化振興計画（仮称）の策定

岡谷市における文化芸術振興の方向性を明確にし、まちづくり、産業、教育、福祉など幅広い分野と連携した施策を推進するため、「岡谷市文化振興計画（仮称）」を策定する。市民が文化を身近に感じ、創造的な地域社会を築く基盤を整える。

※文化芸術の振興に関する政策提言を別途提出予定です。

【 要 望 事 項 】

子どもの育成支援および教育の充実

１．学校教育の充実

・小中学校体育館へのエアコンの設置
・インクルーシブ教育の充実に向けた特別支援教育の推進と、専門人材の配置を教職員の指導体制の強化
・主権者としての意識を育むための学校や地域における主権者教育の推進

２．困難を抱える子どもへの支援の充実

・不登校児童生徒への一人ひとりの状況に応じた多様な学びの場の提供と、切れ目のない相談体制の充実 ・ヤングケアラーや発達障害などのさまざまな困難を抱える子どもや若者および家庭への包括的支援体制の充実
・HSC（ハイリー・センシティブ・チャイルド）の理解の促進に向けた取り組みの実施

３．市立岡谷図書館の充実

・“知の拠点施設”として充実させるため「ステップアップ事業」を継続
・レファレンス機能の強化や「デジとしょ信州」の普及促進
・図書資料購入費の充実を図る

産業振興

１．創業支援

・新規創業者に向けた伴走型支援及びワンストップ相談体制と拠点機能の強化
・地域企業と高校や大学などとの産学官連携プログラムの促進
・若者の移住定住と市内企業の人材確保に向けた奨学金利用者の奨学金返還支援
・地域産業の発展に向けた技術や技能の継承と事業承継支援の充実

２．地域資源の活用による文化産業の創出とブランド構築

・岡谷市ブランド推進計画（仮称）の作成による推進体制の構築
・地域生産品のブランド強化と販売ネットワークの構築（道の駅やオンライン販売サイトなど）
・諏訪圏広域観光プロモーション戦略の積極的提案
・公民連携による全国発信可能なイベントやアクティビティの創出など諏訪湖畔の活用
・諏訪圏フィルムコミッションとの連携によるロケ地の活用による観光振興（ロケツーリズム）の推進

３．デジタル化・次世代技術の推進

・産業（農業、林業含む）のデジタル化に向けた推進拠点や中小企業向けの DX 推進ラボ（デジタル伴走支援拠点）の構築と担い手の育成
・女性のデジタル人材育成や小商い（３ビズ）の推進に向けたプラットフォームの構築
・製造、介護、農業などにおけるフィジカル AI 活用による次世代産業の創出
・空飛ぶクルマなど「次世代モビリティ」への積極的な取組の推進医療・健康・福祉の充実

医療・健康・福祉の充実

１．高齢者や障がい者福祉の充実

・加齢性難聴の早期発見の取り組みと補聴器購入費用の助成拡充
・岡谷市認知症施策推進計画（仮称）の策定および認知症支援の充実
・高齢者や障がい者の終身サポート体制（身元保証、死後事務、日常生活の支援など）の構築および人生会議（アドバンス・ケア・プラン）、リビングウイルの周知と啓発

２．予防医療の推進

・特定健診の受診率向上と特定保健指導の推進による受診勧奨の強化
・がん検診の受診率向上とウイルス性がん予防対策の推進とピロリ菌検査の充実

３．健康寿命の延伸

・楽しく健康意識や健康行動の習慣化を促進する「健康アプリ」の導入
・ウォーキングによる健康づくりの推進と足の見える化健診（足ドック）の導入
・誰も自殺に追い込まれることのない自殺対策計画の推進

防災・減災対策の推進

・新耐震基準（1981～2000 年）の建築物に対する耐震化の推進と耐震シェルターやベッド、感震ブレーカー等の設置補助
・災害時の岡谷市 LINE 公式アカウントの登録者の増加と積極的な活用の推進
・マイ・タイムライン（防災行動計画）の啓発と普及推進
・消防団員確保に向けた支援の拡充
・自主防災組織の機能強化と防災士の育成支援
・気象防災アドバイザーの活用などの気象庁との連携の強化
・雨量計と水位計の観測情報や土壌雨量指数などの岡谷市公式アプリとの連動
・各家庭や職場などにおける非常用備蓄品の啓発と利用促進
・災害時における受援体制の強化
・避難行動要支援者個別計画の作成促進
・女性や高齢者および障がい者に配慮した避難所の環境改善の推進
・ペットの同行避難に配慮した避難所の環境整備

・災害情報・防災情報の多様な伝達方法の構築

市民生活の環境の整備

１．空き家と空き地対策

・管理不全空き家対策の積極的な推進と空き家の利活用の促進
・空き地の適正管理に関する条例（仮称）の制定

２．環境保全の推進

・長野県動物愛護センター（ハローアニマル）との連携とペットとの共生社会の推進
・「諏訪湖創生ビジョン」に基づいた河川の水質浄化の推進
・生態系の保全に向けた県や関係市町の連携強化
・街路樹の適切な管理と雑草の除去などによる街の景観の維持管理

３．公共交通とインフラの整備

・持続可能な地域公共交通の構築とスマートモビリティの導入
・高尾団地など用途廃止市営住宅跡地の有効利用

スポーツの推進

・松本山雅 FC や VC 長野トライデンツなどのホームタウン化とプロスポーツの活用による地域活性化
・スポーツコミッション等によるスポーツマネジメント体制の構築
・高齢者や障がい者などに対応したスポーツ施設のインクルーシブ化の推進

行政運営・行政改革の推進

１．人に優しい DX（デジタル）化の推進

・岡谷市公式ホームページの情報へのアクセサビリティの向上
・岡谷市公式 LINE のチャットボット機能の充実および集積データの解析と活用
・公共施設利用料と納税および行政サービスなどにおけるオカヤペイ決済の推進
・ふるさと納税とクラウドファンディングの積極的な活用
・行政窓口のワンストップ化の推進（転出入、おくやみコーナーなど）

２．人材の確保と育成

・地域おこし協力隊の採用枠拡大とサポート体制の強化
・エキスパートの確保と専門職員の育成
・市民コーディネーターやファシリテーターの育成に向けた環境整備
・市民ボランティア活動などへの助成金の交付拡大

・岡谷市看護専門学校の学生確保と魅力ある学校づくりの推進

３．市役所機能の改善

・市役所立体駐車場出入口の歩車分離対策
・本会議場の音響デジタル機器の更新と情報通信環境の整備
・「岡谷諏訪総合技術新校（仮称）」へのデザイン科導入アピール
・バリアフリーやユニバーサルデザインの推進と普及に向けた啓発